

Domani

http://domani.shogakukan.co.jp

September, 2006
a monthly magazine
for working women

2007年度
Domaniメイツを
募集します!

Must Buy!
今の季節は「小物だけ秋」になる
「秋の通勤バッグ&靴」
120

Domani限定!
**「秋いちばんの通勤アイテムを
いち早く誌上通販!」**
EPOCA×大西真理子・OPAQUE×押田比呂美
ESTNATION×戸野塚かおる

大人の部屋づくりのための最新ニュースがいっぱい!
インテリアはいつだって、
ミラノがお手本!

<特別別冊付録>
新作情報をDomaniが独占!

ダイアン フォン
ファステンバーグの
新・ワーキング
スタイルBOOK

いつもよりモトに着こなして気分を盛り上げ、東京の新スポットを巡ります!
秋先取りの「黒」スタイルで乗り切る。
晩夏→初秋1か月コーディネート

New Brand! 通勤服がみるみる輝く、17ブランドが登場します

キャリア女性を応援する、 新ブランドをみつけた!

インディゴ&ホワイトデズムの
菊池京子流スタイリング

こんなに違うなんて…
関東OL vs 関西OL
夏のヒットアイテム大調査!

晩夏の週末ワンピース

美容プロの愛用「マスク」ランキング

今、美人力はマスカラで決まる!

やせ体質への最新トレーニング公開

仕事、夫婦の関係、お金…出産後はどう変わる?

ワーキングマザーの日常が知りたい!

個性派インテリアをいち早くチェックして!

NEWS

5 日本上陸が話題の 2ブランド・新作チェック

IDC大塚家具

下記有明本社ショールームをはじめ、新宿、横浜などみらい、大阪南港、福岡で専門ギャラリーを展開中。江東区有明3-1 1F
Tビル東館 ☎03-5530-5555
営業10時30分～19時 無休



ここで買えます!



3

Poltrona Frau

ポルトローナ・フラウ

1912年創業の皮革ソファを中心とした高級ブランド。フェラーリなど高級車のシートや、大手航空会社のファーストクラスシートなども手がけ、そのクオリティの高さは世界的に高い評価を得ている。3. スモーキーグリーンテーブルは、エンツォ・マリーによるデザインの新作「La urana」。4. ブランドオリジナルデザインの「LizB」はシンプルなのにリッチな印象。ぜひ同社のなめらかなレザーを味わって。



4

ヤマキワ リビナ本館

4月から、3階の特設コーナーで「モロゾ」の展示・販売を開始し、話題に。千代田区外神田
1-5-10 ☎03-3253-5111 営業
11～19時30分(土・日・祝10時30分～) 無休

ここで買えます!



MOROSO

モロゾ

今年大注目を浴びた、独特のクセがあるインテリアがそろう「モロゾ」。実は、50年以上の歴史があるイタリアンブランド。今年は、パトリシア・ウルキオラをはじめ、ポップでありながら、やわらかさを備えたラインナップが目撃された。1. トード・ボンチェによる「Closer」。ふたりの距離が縮まるビッグソファ。2. ミラノを拠点に活躍する日本人デザイナー・富田一彦氏のデザインしたテーブル「Ukiyo」。

サローネでも人気だった
ふたつのブランドの実力

ミラノ・サローネは、最先端のトレンドを知るために世界のインテリアジャーナリストが集う発表会であると同時に、各国バイヤーの買い付けの機会でもあります。今年、見本市会場で注目を集めていたのが、「モロゾ」と「ポルトローナ・フラウ」。どちらも既存のブランドとは違う存在感を放つインテリアを扱っています。

「どこか懐かしさを感じさせる「モロゾ」、大人の落ち着いた部屋にぴったりな「ポルトローナ・フラウ」。どちらも個性があり、日本で買えるようになることを、心待ちにしていた人も多くでしょうね(石井さん)」



サテリテ会場では Domani世代の女性デザイナーが活躍中

壁にはカタカナの文字も。「日本やタイ、中国などの文化には、大きな影響を受けています」とノエミさん。自身もブースでくつろぐ姿が微笑ましい。



ノエミ・カルボナーリさん

30歳のノエミさんは、デザイン学校の同級生コンスエロさんとユニット「Niuco」として参加。「東西の文化の融合を表現しました。床に座るといふ文化は私たちにないもので、そこを取り入れた生活様式を私たちオリジナルのスタイルで提案しています」ポップな色使いが新鮮!



サラ・パトリアツカさん

31歳のサラさんは、姉の建築家インテリアさんと共同ではじめてのブース出展。プラスチックでラミネートした木材に彫刻をほどこし、手づくりの温かさとポップ感の味わえるネストテーブルなどを出品し、人気を博した。



「創造性のある、楽しい気持ちになるような家具をつくりたい」とサラさん。女性らしさを生かした絵柄も個性的でキュート。



ミラノ・サローネのもうひとつの楽しみは、「サテリテ会場」。この会場は、世界中の若手デザイナーの登竜門となっており、厳しい審査をくぐり抜けたデザイナーが、それぞれのブースで展示を行うもの。新たな才能を発掘するため、各ブランドやプレスがチェックします。そして、全作品の中から最優秀作品が選ばれるのですが、今年はミラノ在住の日本人デザイナー・大城健作さんが受賞しました。

一方で、30代の女性デザイナーの出展も目立っていました。もしかしら、ここから未来のウルキオラが生まれるかもしれません。

グッドルン・リリア・ グンラウグドットイルさん(左) マライケ・ガストさん(右)

37歳のグッドルンさんはアイスランド生まれ。オランダのデザイン専門学校に留学中に、27歳のマライケさんと知り合った。年は離れていても、美やデザインに対する感覚が似ているので一緒に参加したそう。



透かし彫りになった木材を何重にも重ね、ロッキングチェアの中に入れた、グッドルンさんのナチュラルな霧面画の作品。

やわらかい素材が好きという大城さんは、低反ばつまくらから発想してテクノジェルを使用。弾力があり、平らな面なら貼りつけやすく、はがれやすい。



大城慶子さん

東京藝大を卒業後、デザインの勉強をしに訪れたミラノで知り合ったご主人と、現在はトルコに暮らす大城さんは31歳。「アートとプロダクトの中間にアプローチできれば」と作品をつくって、今年で3回目のサテリテ出展。今年は、「テクノジェル」と呼ばれるポリウレタン素材に、バラを描いて。

サラ・パトリアツカさん

31歳のサラさんは、姉の建築家イラリアさんと共同ではじめてのブース出展。プラスチックでラミネートした木材に彫刻をほどこし、手づくりの温かさとポップ感の味わえるネストテーブルなどを出品し、人気を博した。



「創造性のある、楽しい気持ちになるような家具をつくりたい」とサラさん。女性らしさを生かした絵柄も個性的でキュート。

